

令和
5年度

あやべ応援寄附金 寄附金活用事業のご報告

寄附件数 3,184 件

寄附金額 136,010,000 円

～綾部市を応援いただきありがとうございます～

寄附金は使途ごとの基金に積み立て、必要な事業に取り崩して活用しています。令和5年度の主な活用実績を報告します。

社会福祉事業

誰もがコミュニケーションを 諦めることのない綾部

綾部市では、「綾部市手話言語の確立及び多様なコミュニケーション手段の促進に関する条例」について、市民に理念を理解していただくこと、コミュニケーションの環境を整備することの両面から事業を進めています。

市役所の窓口環境としては、多様なコミュニケーション手段に対応できるよう取り組んでいます。手話言語での対応をするほか、会話を文字化するアプリケーションを搭載したタブレットの運用や、中軽度難聴の来庁者に対して対話型会話支援装置を設置しています。令和5年度には、視覚障害者向けに音訳を行う際の機器(パソコン、ヘッドホンマイク)を整備し、音訳ボランティアの活動を支援しています。



水源の里振興事業

水源の里の取組

水源の里では、ふるさと納税を活用し、定住促進、都市との交流、地域産業の開発・育成など、過疎高齢化が進む集落の再生に向けた取組を展開してきました。その成果の一つとして、これまで約40世帯80人の方が定住されました。また、特産品を販売することで地域の活性化に繋がっています。

都市との交流では、水源の里・瀬尾谷で「花を使って結ぶ交流会」を実施しました。この交流会は地域課題を踏まえ、集落の現状から、京都産業大学の学生が立案したプロジェクトです。そのほか学生が住民と交流しながら、集落ごとの資源や宝をキーワードにして冊子にまとめた『水源の里 AtoZ』を作成しました。



地域振興事業

綾部に賑わいをもたらす イベントを支援

賑わいと活力を生み出し地域を活性化させることを目的に、市民団体等が自ら企画・実施するイベント等に対し補助を行い、文化や福祉、スポーツなど幅広い分野でのイベントに活用いただきました。



中には、子どもから大人まで約3,000人を超える来場者で賑わったイベントや、和太鼓演奏、伝統芸能の鑑賞等による文化振興、観光資源を活用した魅力発信等、団体の様々な企画により綾部市を盛り上げ、多くの市民が集い交流する場の創出に取り組みられました。

教育振興事業

「ふるさとあやべ再発見」 教育推進事業



進学等で一旦転出しても、将来的には綾部に戻る若者の増加を目指し、各校でふるさと「あやべ」を知り、ふるさとを愛する心を育成するためのふるさと教育を実施しました。

学校ごとに補助金を交付することで、学校の規模や状況に合った独自の研究課題や内容に取り組みます。地域や身近な人との交流、ゲストティーチャーからの学び、地域の伝統文化、歴史の学習、地域探検や体験活動など様々な取組を行うことで、ふるさとのよさに気づき、地域社会への所属感を高め、郷土愛を育むことができました。

世界連邦推進事業

地球市民の集い

綾部市では日本初の世界連邦推進と平和実現に向けた「平和と環境の日」の趣旨に基づき、市民一人ひとりが平和や環境などについて考え、意識を高める機会を提供する活動を積極的に行なっています。



「世界連邦都市・綾部」を身近に感じてもらうため、市内の小・中学生を対象とした『世界連邦ポスター・作文コンクール』を行いました。また市民向けのイベント『地球市民の集い』を開催し、市民一人ひとりが平和や環境などについて考える機会を提供しました。平和や環境問題などをはじめとする地球規模の課題について考え、取り組む機会となりました。